

令和6年度 第1回 内灘町男女共同参画推進委員会

- 【日 時】 令和6年9月27日（金）15:00～16:30
【場 所】 内灘町役場 3階 301・302会議室
【出席委員】 花輪委員、葛城委員、岡野委員、山崎委員、源代委員、春田委員（6名）
【事務局】 文化スポーツ課男女共同参画室 中村室長、表課長補佐、立川主事

会 議 内 容

1 挨拶

委員長 花輪 由樹

2 議件

（1）令和5年度内灘町男女共同参画推進状況報告書について

事務局）委員の皆様事前に報告書を送付し、昨年度と変更のあった部分や質問があった部分を中心に説明する。

まず、「令和5年度の新規事業は無しということによいか。」という質問があったが、ご指摘のとおり令和5年度の新規事業は無しとなっている。しかし、既存の事業を拡充した取り組みもあった。報告書6頁の学校教育課の「保護者連絡アプリによる情報発信」では、情報発信手段をメールから tetoru（アプリ）に変更したことにより、学校からのお知らせと保護者の欠席連絡等をオンラインで一元管理できるようになり、より利便性が上がった。また、報告書13頁の子育て支援課の「多様な保育サービスの実施」では、14番のフッ化物洗口事業が新たに追加され、保育サービスのさらなる拡充を図った。報告書23頁の地域包括支援センターの「チームオレンジの立ち上げ支援」では、認知症に関する知識の普及啓発のほか、認知症の「予防」と「共生」を両輪に必要な援助を行った。

続いて、「令和4年度から令和5年度に事業を継続せず、報告書から削除されたものはあるか。」という質問があったが、報告書19頁の事業概要20に記載されていた「内灘町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の推進」が令和5年度の報告書では削除されている。例年、1月～3月頃に協議会を開催していたが、令和5年度は災害対応のため開催ができなかった。現時点で次回開催が未定のため、削除となっているが、開催があった場合は再度掲載する予定である。また、報告書3頁の子育て支援課の「保育所職員の研修実

施」について、「震災の影響で実施できずとあるが、職員の災害対応で実施できなかったのか。また、他にも震災の影響で中止や開催時期の変更のあった事業はあるか。」という質問があったが、ご指摘のとおり、保育所職員の研修は職員の災害対応のため、今年度は実施できなかった。また、震災の影響で、中止や開催時期の変更のあった行事は、文化スポーツ課の「内灘町文化芸術祭」「はまなす大学」「令和6年二十歳のつどい」である。「内灘町文化芸術祭」は中止、「はまなす大学」は6月から3月にかけて実施予定だったが、1月と2月の実施分を中止とした。「令和6年二十歳のつどい」は1月7日に開催予定だったが、3月24日に延期となった。5月、6月、7月にも町の大きな行事が続いていたが、そちらも震災の影響で中止となっている。今回は令和5年度の報告書だが、来年作成する令和6年度の報告書では、震災による行事の中止が多く報告されると考えられる。

また、報告書19頁の総務課の「防災」について、「防災士育成事業とあるが、令和5年度に防災士の資格を取得した13名の方や、町内累計の169名の方は公費を使用して育成されたのか。また、令和5年度に取得した13名の男女別の内訳はどのようなになっているか。」という質問があったが、令和5年度に取得した13名も、町内累計の169名の方も、ともに公費を使用している。また、令和5年に取得した13名の男女の内訳は男性8名、女性5名となっている。関連した質問で、「内灘町の地区毎の防災士の在籍数（男女別）と、内灘町の防災士の育成目標はどのようなになっているか。（地区毎、男女別）」と質問があったが、地区毎の防災士の在籍数（男女別）は以下の表のとおりとなっている。また、各地区自主防災組織から必要な人員を推薦いただいているため、町としては目標数を設定していない。

地区名	男	女	合計
01.向栗崎	16	11	27
02.旭ヶ丘	6	2	8
03.アカシア	3	2	5
04.緑台	8	3	11
05.千鳥台	10	2	12
06.向陽台	5	1	6
07.鶴ヶ丘東	6	5	11
08.鶴ヶ丘4丁目	4	6	10
09.鶴ヶ丘5丁目	3	2	5
10.大清台	3	1	4
11.大根布	14	8	22
12.大学2丁目	4	3	7
13.ハマナス	4	2	6
14.宮坂	3	1	4
15.白帆台	4	4	8
16.西荒屋	6	3	9
17.室	4	2	6
その他 所属	8	0	8
合計	111	58	169

最後に、大きく変化のあった部分としては、報告書16頁の総務課の「男性職員の育児参加等休暇、育児休業取得の促進」の部分である。令和5年度は、育児参加等休暇と育児休業の取得率がともに100%であった。こちらは、対象職員が2名だったが、2名とも取得した。職場内における男性の育児休業取得への機運が醸成されてきたと推察できる。

委員) 新規事業は無くても、例えば先ほど説明のあった学校教育課のtetoru(アプリ)で情報を発信したという内容も、「これまではメールで配信していた内容を令和5年度からtetoruに変えた」等の情報も記載し、いつから改変したのかという情報をデータとして残しておくことは重要だと思う。報告書3頁の「男女混合名簿導入」は平成18年とかなり前だが、このように沢山残し続ければいい。

委員) それぞれの取り組みが毎年何月頃に行われているかの情報があれば、報告書を見る町民の方もアンテナを張って情報収集ができると思う。

委員) 報告書19頁の防災士育成事業だが、地区毎の防災士の在籍数に対してそれぞれの地区の人口が記載されていない。また、「各地区自主防災組織から必要な人員を推薦いただいている。」という説明があったが、つまり町は他に何もしていませんというニュアンスに取れる。元旦に震災があったのに人任せすぎないか。全部各地区に丸投げしているので総務課で把握できていないと言っているのと同じである。このような体制だとクレームがくる。目標があって初めて、男女比や男性(女性)の防災士を増やさないといけない等の情報が分かるし、公費で育成していく根拠にもなる。

委員) 防災士の研修会などは実施していないのか? 研修会などを行って初めて、町の公費で育成している意味がある。取得して終わりではなく、維持していくための取り組みが必要である。そのような取り組みが無いのは残念である。

委員) 令和5年度に新規事業がないのは活発でないのかなという印象を受ける。新規事業でなくても新規事業に近いものは新規事業として公表してもいいのではないか。また、「効率化を図るために〇〇の事業を統合した。」とか、「〇〇のイベントと一緒に実施したことで参

加人数が増えた。」というようなことはなかったのか。

事務局) 各課で男女共同参画に関わる事業と判断されたものが報告されているため、報告が無かっただけで、実際にはそのような事業もあるのではないかと思います。

委員) 各課から報告されたものに対して、打ち返しはしているのか。抽象的な表現が多いと感じる。例えば報告書22頁の福祉課の「介護保険サービスの充実」の部分で書かれている内容は、その通りだと思うが、このような内容であれば別に書かなくてよいと思う。例えば、「内灘町は〇〇の課題があるため、〇〇の充実を図った。」とか、「夜間の要望が〇〇地区で多いため、夜勤の対応ができる人の確保を図った。」など、具体的に記載してほしい。

委員) 同じく報告書22頁の福祉課の事業でも「福祉タクシー利用料金の援護」では、具体的な施策が分かるので、他の部分もこのように記載してあればいい。

委員) 具体的に施策の内容が記載されていれば、こんなことをうちの町でやっているのかと真面目に読む方が増えるのではないかと思います。

委員) 各課に依頼する時点で、このように記載してくださいと記載例を挙げて、その形に沿って報告してもらえばいいと思う。入力様式に具体例を記載する欄などがあれば、各課も埋めないといけないと思い、より良い報告書ができると思う。

委員) ご指摘いただいたとおり、来年度作成時に各課へ照会する際は、このように記載してほしいと具体例を含めて説明し、依頼したい。

委員) 必ずしも新規事業があるから良い、無いから悪いという訳ではないと思う。新規のほかに継続事業の中でも継続A、継続Bなどランクを分けた見せ方もできると思う。また、新規事業が無かったり、削除した事業があったとしても今後の見込みなどが書いてあればいいのかなと思う。

(2) 令和6年度事業について

① 石川中央広域圏男女共同参画推進協議会事業

(石川中央広域圏男女共同参画推進協議会の事業(案)のため内容は非公開とする。)

② ふらっとミニセミナー

会議資料3頁に基づき事務局より説明。

事務局) 3月の委員会で皆様からいただいた意見や前回実施時のアンケート結果をもとに、今年度は「相続」をテーマとし、50代や70代の方をターゲットに設定した。どのように相続するか、どのように引き継いでいくか、前向きに終活について考えられるような内容で相続対策セミナーを企画している。今回は、オンライン参加も可能なので、幅広く参加いただければと思っている。

委員) 「相続対策セミナー」という表記が堅いと感じる。もう少し柔らかい表記にしてはどうか。

事務局) もしよろしければ、どのような表現がよいか、アイデアをいただきたい。

委員) 「もしものために困らないように、迷わないように」というような副題を入れるのはどうか。「終活」というワードも目に留まると思う。

委員) 「親のためにも子のためにもなる」というニュアンスが伝わればと思う。「どうする相続! ?」のような文言をタイトルにして、「互いに納得できる終活」のような文言をサブタイトルにするのはどうか。

事務局) いただいた意見をもとに、タイトルを柔らかい表現に変えて周知していきたい。

委員) 昨年度、申し込もうとしたら既に定員に達していた。定員20名となっているが、会場の定員は倍の40名くらいは入ると思う。それ

はやらないのか。

事務局) 昨年度も定員を20名としていたが、定員を超えたため、すぐに枠を開放して受け付けした。

委員) 相続がテーマなので、参加者で講師の先生に質問したい方は多くいると思う。質疑応答の時間だけでは足りなくなることも予想されるため、事前に参加者から質問を集めたらどうか。あるいはセミナーの途中で休憩時間を設けて、参加者から質問を書いてもらい、講師の先生がいくつか選んで回答するのはどうか。

事務局) いただいた内容を参考にし、検討して進めていきたい。

③ 男女共同参画室、働く女性の家共催事業

会議資料4頁に基づき事務局より説明。

事務局) 今年度の働く女性の家で開催される講座のうち、男女共同参画室との共催事業は「骨盤・体幹ストレッチ講座」である。こちらは町が講師の先生への謝礼などを負担しており、参加費が通常よりも安くなっているため、お得に講座を受けることができる。今年度は13名の申し込みがあり、昨年度は申し込みがなかった年齢層である30代の方や男性の方も2名参加している。

委員) チラシを見る限り、この講座がお得なのか判断ができない。どこまで掲載できるか分からないが、町から何割か負担があると分かればお得感が出る。

委員) 申し込みは最初にするのか？それともその都度申し込むのか。

事務局) 申し込みは、最初にしている。

④ 令和6年度第2回委員会

事務局より、次回の令和6年度第2回委員会を令和7年3月頃に実施する旨を委員へお伝えした。

3 その他

特に意見等なし

－ 閉 会 －